

## 男子団体試合

	徳山	山口県桜ヶ丘	下松工業	南陽工業	勝数	負数	分数	順位
徳山		第1会場①	第1会場②	第2会場③				
山口県桜ヶ丘			第1会場③	第2会場②				
下松工業				第2会場①				
南陽工業								

※第1会場とは本部席に近い会場

(規定)

**団体試合** ・リーグ各試合ごとの代表戦は実施しない。リーグのすべての試合が終了し、試合内容(勝内容、負内容)を比較して優劣がつかない場合、任意の代表者による「代表戦」を行う。それでも優劣がつかない場合は、ゴールデンスコアによる「延長戦」を行い優劣を決する。

・リーグ戦における各試合は、「技有」以上か、技の評価が同等の場合、「僅差」で優劣を決する。  
「僅差」とは、指導差が2とする。

**個人試合** ・「技有」以上で優劣を決する。技の評価が同等の場合、ゴールデンスコアによる延長戦を行い優劣を決する。  
本戦の指導数を延長戦に引き継ぐ。

(延長戦で指導が与えられた場合)

・指導数の少ない試合者が指導を与えられた場合、指導の数が並ぶまでは試合を継続する。

・指導の数の多い試合者が「指導」を受けた場合、敗者となり試合は終了する。

・両者同時に「指導」を受けた場合、指導の数の少ない指導者を勝ちとする。

**共通** ・ゴールデンスコアによる延長戦において、試合時間の制限を設けない。

・積算ではない「反則負」を与えられた選手は一連の試合に出場できない。(団体と個人は別)

**申し合わせ事項** ・試合時間は、団体試合のリーグにおいて3分とする。代表戦と個人試合は4分とする。

・赤畳の内側4間四方を場内とし、赤畳から場外とする。

・正規の試合場が確保できていないため、危険防止のため、早めに「待て」を宣告することがある。

・個人試合で、一方の会場の試合者が寝技の状態にあり、他方の会場の試合者が近づいた場合危険防止のため、近づいた試合者に「待て」を宣告し、移動させる。

・壁、机、床等に接触した場合、投技の効果は無効とする。固め技は、「待て」を宣告する。

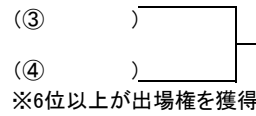
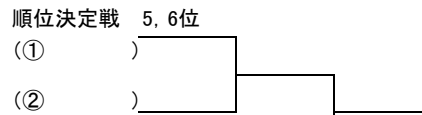
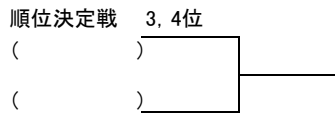
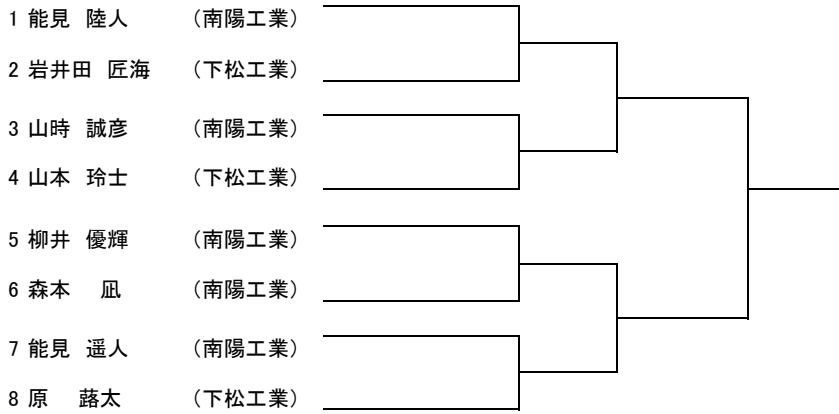
・団体試合、個人試合とも三審で行い、 Jury はおかない。

・個人決勝戦は、軽い階級から順に第1会場(本部席に近い会場)で行う。

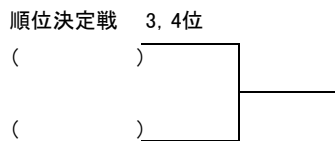
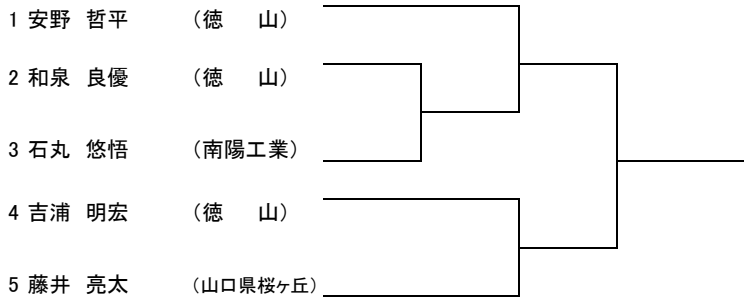
※「申し合わせ事項」は、開会式において、選手に周知する。なお、各階級6名に満たない

場合、顧問会議の了承の元、県総体地区代表とすることができる。(今回、60kg以外が該当する)

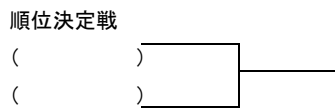
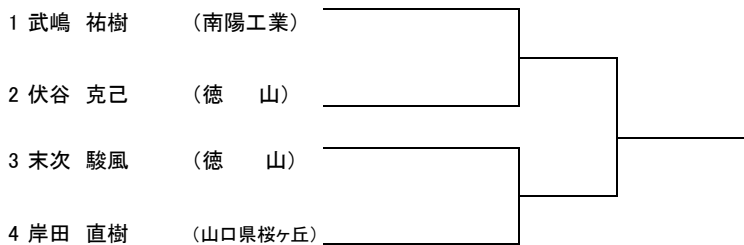
男子個人60kg級



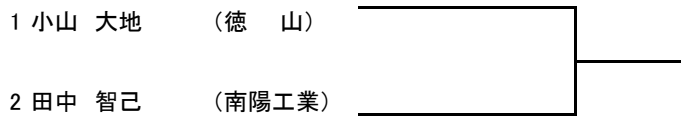
男子個人66kg級



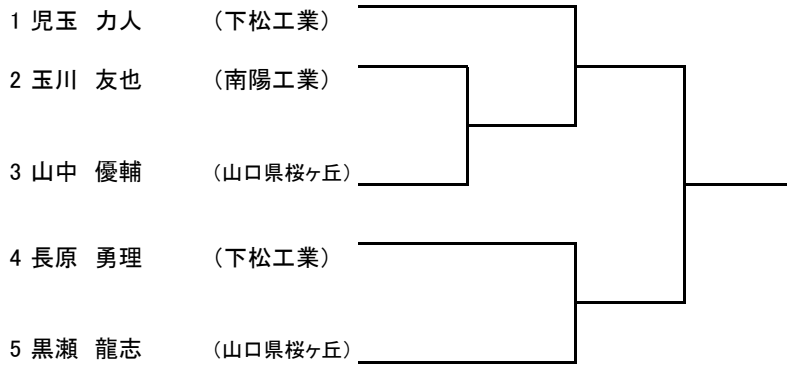
男子個人73kg級



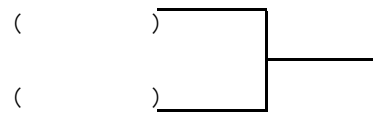
男子個人81kg級



男子個人90kg級



順位決定戦 3, 4位



男子個人100kg級、100kg超級はエントリーなし